

■関城キッズ天国委員会『どろんこ塾』

いい汗がいて、ヨシヨシ「ローズ」の収穫！

キッズ天国委員会では、地域の子どもたちに米づくり体験を通して、食べ物大切さや作ることの楽しさを知って欲しいと、平成9年から『親子稲づくり体験・どろんこ塾』を毎年企画しています。東に筑波山を望み、西は鬼怒川の清流が間近に流れる、緑豊かな田園地帯。この恵まれた自然のなか、園児から小学生までの25組の親子、ボランティアの皆さんと私も一緒に、約6か月間にわたって体験した『どろんこ塾』を紹介します。



田で遊ぶ「FUN FUN FUN」

「地域づくりは人づくりから」と、平成6年、生涯学習ボランティア養成講座修了生が集まり、『どんぐり会』が結成されました。そして平成7年4月、『どんぐり会』では学校週五日制実施に伴い、子どもたちの体験学習を支援するため、『キッズ天国委員会』を発足。以来、子どもミュージカル、町の史跡めぐり、琴の生演奏で茶道、生花、ゴミを考える環境探検隊、農業体験など、様々な分野にチャレンジしてきました。

その活動の一つが、今年で9回目になる『どろんこ塾』です。地元で農業を営んでいる染谷勉さん（56歳・関本中）に塾長をお願いし、これまでに大勢の塾生を送り出してきました。

5月末のよく晴れた土曜日、塾長から苗の植え方などを教わり、子どもたち

の『どろんこ』への挑戦が始まりました。なかには、「嫌だよ！帰りたいよ！」と繰り返す子もおり、父親が「とても上手に植えてるなあ」と、優しく励ましながら頑張っていました。そして、田植えが終わわり、あぜ道に上がった時の親子は「頑張ったぞう」という誇らしげな顔をしていました。大森遥香ちゃんは「泥に入っただメヌメしたけど、面白かった。来年もやりたいな」。松本彬ちゃんは「楽しかった。きれいに植えられたとはいえないけど頑張ったよ」。塚田れみちゃんは「田んぼでどろんぴっく！ チョー面白かった」と、みんなニコニコ顔でした。6月と7月には、稲と稗ひえの違いなどを教わりながら、田の草取りをしました。大きい子は自信にあふれた背を見せ、「ころばし」を器用に押していました。終わったあとに、金澤真治君は「取った雑草の量をみんなで競争すればよかったな」と元気のいいことを言っていました。



■このコーナーを担当したのは

渡邊 千代子さん（黒子）

草取りの後には、塾長の畑で『ジャガイモ掘り大会』という楽しいプレゼントもありました。「たくさん掘らせていただき、楽しかったです。子どもたちといろいろ料理したいですね」と渡辺あいらちゃんのお母さん。みんな大喜びでジャガイモを抱え、記念写真に納まりました。

刈った稲をのろしにかけて日光浴

9月末には、待望の稲刈りを行いました。この日は、前日までの台風の影響で、あいにくの小雨模様。しかし、そんな天気も、子どもたちは元気な声で吹き飛ばしてしまいます。稲を刈る人と束ねる人に分かれ、子どもたちは競うようにして作業を行い、最後の『のろし掛け』まで約2時間ほどで終了しました。

2年生の塚田れみちゃんは、「カエル、バッタ、イナゴと一緒に稲刈りをやったよ」。金澤秀真君は「お米は作るのが大変で大切さがわかった。ご飯は残さず食べるよ」と疲れも見せずに元気に話してくれました。そして、日光浴後の稲は、塾長が玄米にしてくださいと、数日後、参加した皆さんにプレゼントされました。幾日か過ぎたある日、「私が作った新米のご飯を仏壇にお供えました」、「太陽の匂いにするホカホカご飯を食べながら、娘と話が弾んで」と、あるお母さんがこやかに報告してくれました。

塾長の染谷さんは、「私は畑で野菜を作り、作物の成長を楽しみに土と触れあっています。その楽しさを子どもたちにも伝えたいんです。今の子はテレビゲームや学習塾に大忙し。だからこそ、田植えや稲刈りをあえて手作業で、遊び感覚で体験するのは貴重なことです。米づくりを通して、食べ物の大切さ、作る楽しさを少しでも分かってもらえたら嬉しいですね。頑張る子どもたちの笑顔が私の肥やしになっています」と力強く話してくれました。

小学生の時にどろんこ塾を体験した、大学生の滝田真理恵さんは、「田植えや稲刈りは楽しかったけれど、正直、大変でもありました。でも、自分たちで作ったお米は、売り物と比べ物にならないくらい美味でしたね。その後、趣味の一つに家庭菜園が加わりましたが、あの時の経験が大きかったと思います」と思い出を語ってくれました。

子どもたちは、この体験で共同作業の楽しさを味わったと思います。私も、多くの可愛い友を得（独り合点?）、喜びを感じています。おいしい主食の米を古代から伝えてくれた先人への感謝、自然の恵みを改めて強く感じた取材でした。



◀半年にわたって米づくりを体験し、充実した顔の子どもたち。この経験は今後、様々な場面で役立つことでしょう。自分たちが汗を流して作ったお米、食べるのが楽しみですね。